

# まちしほばら

7月号

平成22年7月10日

平成22年7月1日現在の人口●男1,640人●女1,657人●計3,297(前月比 ▲9)●転入6●転出10●出生1●死亡6●世帯数1,100(前月比 ▲5)



## 磐梯朝日国立公園指定 60周年記念式典開催

福島民友新聞社提供



▲田部井淳子さんと歩く雄国沼エコトレッキングの参加者

磐梯朝日国立公園指定60周年記念事業として、6月19日に、「田部井淳子さんと歩く雄国沼エコトレッキング」、6月20日には「記念式典」、「磐梯朝日国立公園の環境と観光を考えるシンポジウム」が行われました。

シンポジウムでは、登山家田部井淳子さんによる基調講演、パネルディスカッションが開催され、小椋村長は、「環境を適切に守り、観光客の期待に応え、そして住む人も満足できることが大切である」と話しました。

# 環境省東北地方環境事務所長感謝状受賞 ～小川一さん・清水秀俊さん～



▲小林香環境省東北地方環境事務所長（中）、  
清水秀俊さん（左）、小川一さん（右）

小川一さん（樟）は、雄国沼湿原遊歩道の管理、巡回、監視活動や生態系の調査を通じて、登山者やハイカーが安全に、安心して楽しめる環境を確保した功績により、また、清水秀俊さん（狐鷹森）は、自然体験型ネイチャースクールを開校し、ガイドの育成を図りながら裏磐梯の自然体験プログラムを提案している功績がそれぞれ認められました。お二人のますますのご活躍を期待いたします。

## 杉並区民の保養地「裏磐梯」をPR!! 観光物産展を 杉並区で開催！

今年で6回目を迎えた初夏の観光誘客宣伝活動「北塩原村観光物産展」は6月18日、19日の両日、あんさんぶる荻窪・JR高円寺駅北口広場・荻窪地区民センターの3会場で開催。イベントには、まるごと保養地交流実行委員会委員長である吉川一三村商工会長をはじめ、各商工観光関係者約30人が参加し、まるごと保養地北塩原村「裏磐梯」をPRしてきました。

物産では、アスパラ、しいたけなど産地直送の採れたて農産物をはじめ、村の特産品である山塩や花豆を中心に販売。また、交流・対話型の観光PRを新たな取り組みとして位置づけ、裏磐梯で体験できるネイチャークラフトを実施し、杉並区の子どもからお年寄りまで多くの来場者と会話をしながらの交流をすることができました。他にも、裏磐梯子ども自然農業体験倶楽部が中心となって実施した「郷



写真展・漆展

土料理教室」では、杉並区民と本村の郷土料理や裏磐梯の観光について楽しく会話する様子が多く見受けられ、裏磐梯を大いにPRすることができました。

その他、裏磐梯写真展・漆展が19日から23日までの期間、杉並区役所2階ギャラリーにて開催され、四季折々の写真が計30点、漆工芸品が33点展示されました。展示会では、村の美しい雄大な自然や会津の伝統工芸をPRするとともに、観光地としての裏磐梯の新たな魅力を提供することができました。

今後、北塩原村「裏磐梯」を、一人でも多くの方が、杉並区民のふるさととして親しんでもらえるよう、今回のような交流・対話型の観光PRを多く取り入れ、杉並区をはじめ、首都圏の方々に本村を広くPRしていきます。



▲ネイチャークラフト



▲郷土料理教室



▲産地直送農産物販売

# 旧会津・ 米沢街道 ワンデーマーチ

「旧会津・米沢街道ワンデーマーチ」が6月20日（日）に米沢市と北塩原村の共催で行われました。桧原歴史館の前で開会式を行った後、バスで旧街道入口まで移動し桧原峠まで歩き、桧原峠の広場では会津古城研究会の石田明夫会長による桧原峠にまつわる講話をしていただき、写真撮影を行いました。

さらに今年度は、米沢市側の旧街道も整備され初めて県境を越え米沢市綱木地区へと向かいました。ゴール地点となった綱木地区の広場では、米沢市特製「いも汁」の振る舞いや伝統芸能「綱木獅子舞い」、プレゼント抽選会などを行いました。

心配された天気も過ごしやすく、参加者の方々はウォーキングと交流を楽しんでいました。

**国道121号大峠道路  
平成22年9月中旬全線開通  
ますます米沢市が身近になります**

## 桜を守る会ボランティア活動 ～2001本の桜の手入れ～

2001本の桜を手入れしながら守り育てるボランティア活動が、6月20日に桜峠公園で行われました。

活動には桜を守る会の会員約40名が参加し、桜峠公園一面に生い茂った雑草の刈払いや虫の食害にあった樹皮の手入れ作業を行いました。お昼にはラビスパ特製トン汁とおにぎりで、作業により空腹になったお腹を満たしました。

次回のボランティア活動は、9月頃に桜の剪定講習会と併せて行う予定です。



▲桧原峠での記念撮影



▲綱木獅子舞い

## いわきお魚市 ～道の駅交流事業～



「道の駅裏磐梯」と「道の駅よつくら港」の交流事業として、「いわきお魚市」が6月19日・20日の2日間「道の駅裏磐梯」の特設会場で開催されました。

当日は、四倉港から直送された新鮮な魚介類が販売され好評でした。

8月にも開催を予定していますので、ぜひお越しください。

# 北塩原村における教育に関する事務の管理及び評価の公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第1項の規定に基づく「平成21年度北塩原村における教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」の公表を行います。

## 〈趣旨〉

教育委員会では、毎年、主要な施策や事業の取り組みについて点検及び評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図ることとしています。また、点検評価に関する報告書を作成し、これを議会に提出すると共に、公表することにより、村民への説明責任を果たし、村民に信頼される教育行政を推進するものです。

## ○評価報告書を見ることができる場所

- ・ 教育委員会
- ・ 観光政策課（裏磐梯合同庁舎内）
- ・ 案原出張所
- ・ ホームページ

○評価報告書の閲覧日時  
<http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp>

毎週月曜日から金曜日まで  
(祝日、年末年始の休日を除く)

午前8時30分～午後5時まで

## ○問い合わせ

教育委員会  
☎ 23-1333



# ニュージーランドで みる・きく・ふれる

～派遣団員の感想～（感想文の一部をご紹介します）

“3月26日に、トンガリロ高校とテ・クラ・ヒランギ学校へ行きました。最初のトンガリロ高校では、学校を案内してくれました。そこは、幼稚園から高校までが集まった学校で、たくさんの人がいました。みんな優しい人たばかりで、英語がわからないわたしたちにもすごく優しくしてくれ、とても楽しい時間をすごすことが出来ました。”

“3月27日は川下りやロッククライミングをしました。川下りは初めてだったので少し恐かったけど、とても楽しかったです。ロッククライミングはテレビでは何回も見た事があったけど実際にやるのは初めてだったので高い壁が登れた時はすごくうれしかったです。ロッククライミングは結構簡単だと思っていたのに、むずかしくてテレビでやっている人はすごいなあと思いました。”

“今回の交流で学んだことをこれから的生活に生かし、よりよい生活を送りたいです。”（小椋美里さん）

“最初に向かったのはタウポ市役所でした。そこで役場の方が私達を温かく迎えてくれました。中でもやはりタウポ市長さんが一番温かく迎えてくださいました。明るくて楽しそうに北塩原村の村長とお話する姿を見た私は、出発する時の緊張が少しほぐれて、だんだん現地に慣れるようになりました。”

“ホームステイ先で英語が話せるか、コミュニケーションがとれるかなど不安でいっぱいでした。ですが、マザーはそんな私達を笑顔で迎えてくれたのでとてもうれしかったです。マザーは英語が少ししか話せない私達に辞書を使って単語でわかるように色んなことを教えてくれました。”

“ニュージーランドで過ごした思い出は書ききれない程たくさんあります。このたくさん学んだことを少しでも自分の生活に、将来の自分の為にいかしていけたらいいなと思います。”

（栗城美穂さん）

“トンガリロ高校とテ・クラ・ヒランギ学校へ訪問しました。両学校ではマオリの伝統的な儀式で迎えられました。儀式的後は学校案内をしてもらいながら交流をしました。”

“ホームステイの最終日、川下りなどで一緒にいたNZの生徒とホストファミリーで花火をして盛り上がりしました。花火の後はDVDを観ながら皆で話をしました。”

“ホームステイの初日はほんの少しか会話ができなかったのですが、最終日は積極的に会話をすることで楽しく、勉強になったと思います。”

“動物園ではキウイという絶滅危惧種の鳥を見る事ができました。キウイは羽根が無く飛べない鳥で滅多に見る事できない鳥です。”

“夕食は、前のALTEのコートニー先生と一緒にレストランで食べました。コートニー先生にニュージーランドの思い出を話すと、楽しそうに聞いてくださって、嬉しかったです。”

“今回の交流で学んだ事をこれから的生活の中でしっかりと生かていきたいと思います。”

（鈴木那美さん）

# 保護司に 金子 一二三さん



平成22年6月1日付で、新しい保護司に金子一二三さん（桧原）が法務大臣より委嘱されました。金子さんは温厚・誠実な人柄で、長年地域住民の健全育成に尽力されています。今後のご活躍を期待いたします。

～保護司って？？～ 更生を助け、犯罪予防の啓発に努めています。

## 第14回 桧原地区 スポーツフェスティバル開催！

6月13日（日）今年も明大セミナーハウスグラウンドにおいて、グラウンドゴルフ大会が行われました。

当日は晴天に恵まれ、眩しい日差しのもと8ホールのコースで個人戦と団体戦で優勝を目指し、老若男女の参加者が和気あいあいとプレーしました。

ホールインワンも飛び出す白熱したプレーに歓声が上がる場面もありました。

大会終了後は桧原集会所で懇親会が開かれ、世代を超えた交流・親睦が図られ、大いに盛り上がりました。

### 【各部門別の順位】

○小学生の部 ※（）内の数字はスコア  
1位 小椋大輝（43）  
2位 小椋 湖（46） 3位 渡部元気（49）

○中学生の部

1位 外島貴文（35）

○一般の部（男性）

1位 小椋義正（27） 2位 山口英夫（27） 3位 佐藤 守（30）

○一般の部（女性）

1位 吉田清美（30） 2位 安部浩江（32） 3位 佐藤栄子（32）

○70歳以上の部

1位 佐藤美和子（30） 2位 外島二郎（32） 3位 吉田フミコ（34）



## 幼稚園の園庭に芝生を植えました!! 「うつくしまグリーン プロジェクト芝生化事業」



6月16日、(財)日本サッカー協会(JFA)のポット苗方式芝生化モデル事業をうけた、県の「うつくしまグリーンプロジェクト事業」として、裏磐梯幼稚園の園庭に環境に優しい芝生の苗を植えました。

あいにくの雨で、園児たちは参加できませんでしたが、保護者30名ほか幼稚園職員らが、JFA(つくばFC)及びJヴィレジの専門家から指導を受けながら、約1,000m<sup>2</sup>の園庭に縦横50cm間隔で3,000株の苗を植えました。

約2ヶ月後には、緑一面の芝生で埋めつくされることから、園児たちが外で思いっきり遊べる時間と環境がつくり出され、転んだ際のケガの防止や、夏場の暑さ軽減、土ぼこり防止などの効果が期待されます。

今後は、緑いっぱいの芝生の中で思いっきり活動する園児たちの楽しげな姿を思いながら、保護者会と幼稚園職員などみんなで維持管理をしていきます。

## 稻作体験活動 (第一中学校)

第一中学校の学校田では、5月に生徒が植えた「こがねもち」が順調に生育しています。

環境にやさしい、安全な米を作ろうと除草剤を使用しない「減農薬」に取り組んでいます。

このため、ノビエやホタルイ、アゼナなどの雑草が目立ってきました。

非常勤講師の内海周さん(北山)の指導により、全校生徒による草取りを行ないました。

短パンに靴下姿の生徒たちは一列に並び、時折腰を伸ばしながらも、八十八の手間がかかる米作りの大変さと大切さを学んでいました。



# 磐 梯 山 ジ 才 パ 一 ク 通 信 vol.3

# 世界遺産と世界ジオパーク

ジオパークは、ユネスコが支援する世界ジオパークネットワークが推進するものです。世界遺産は条約に基づいて保全・保護を重要視するのに対し、ジオパークは地質遺産を保護しつつ、それを教育や科学の普及などに活用することで、保全と活用（地域の振興）を重要視します。

ジオパークは保護と活用の両方を重視する点が、主に保護を目的とする世界遺産とは異なる点です。一般の人が近づけない、あるいは保護のためには近づくべきでないような場所は、ジオパークとはなりません。また、ジオパークは「場所」だけでなく、そこで行われている「活動」とその活動を行う「人」が評価にあたって重視されます。

<世界遺産>

世界遺産には現在908の地域が登録されております。

## 【世界自然遺産の登録基準】

- ①過去の生命の歴史や地球の歴史の証拠となるような、重要な地形・地質等があらわれている地域（地形・地質）
  - ②現在も進行中の生物の進化や生物群集の見本となるような、極めて特徴のある生態系を有する地域（生態系）
  - ③ひときわすぐれた自然美をもった自然現象や景観を有する地域（自然景観）

- ④絶滅危惧種の生息地や、生物多様性の保全上最も重要な生物が生息・生育する地域（生物多様性）

世界ジオパーク

現在63の地域が認定され、日本では洞爺湖有珠山、糸魚川、島原の3カ所が認定されております。

### 【世界ジオパークの認定基準】

- ①地質遺産（地質学的に重要な露頭や場所）を保全
  - ②地質学的重要性だけでなく、考古学・生態学的・文化的な価値も有する複数地域
  - ③持続可能な社会・経済発展を促進する計画あり
  - ④地質遺産を保全・改善し、地質科学教育に寄与
  - ⑤公共団体と民間の共同行動計画を有する

＜日本ジオパーク＞

世界ジオパークを目指すには、まず日本ジオパークの認定を受ける必要があります。日本ジオパークには、現在11の地域が認定されております。

認定地域：①アポイ岳、②洞爺湖有珠山（世界）、

- ③糸魚川（世界）、④南アルプス、⑤山陰海岸、
  - ⑥室戸、⑦島原半島（世界）、
  - ⑧恐竜渓谷ふくい勝山、⑨隱岐、⑩天草御所浦、
  - ⑪阿蘇

## 裏磐梯ビジターセンター通信

裏磐梯ビジターセンター ☎32-2850



### ▲テコ平湿原



▲布滙

今回は、早稲沢口駐車場から出発し、「テコ平湿原」までを結ぶ、渓流や滝、ブナ林、湿原など変化に富んだ「早稲沢・テコ平自然ふれあい探勝路」を紹介します。

このコースは片道およそ2時間30分で、はじめは吾妻川支流沿いを進み、心地よい渓流の音を聞きながら緩やかに登っていきます。いくつもの名もない沢や50mほどの落差を何段にも渡って流れ落ちる「布滝」に出会い、豊富な水を湛えている山々の力を肌で感じることができます。途中、急な階段を登りきるとブナの原生林が悠々と私達を迎えてくれます。日本名水100選の「小野川湧水」の1つ「百貫清水」に寄ってみるのもお勧めです。

「テコ平湿原では、初夏にはミズバショウやワタスゲ、夏には旅をする蝶とも言われるアサギマダラがヨツバヒヨドリなどの花に集まる様子を見ることができるでしょう。

訪れる者を飽きさせることのないこの探勝路にこれから暑い季節、爽やかな風を浴び歩いてみてはいかがでしょうか。

# 早稲沢・デコ平自然ふれあい探勝路

## けんこう通信



## 料理教室開催（食生活改善推進員養成講座）

○日 時 平成22年8月17日（火）午前9時30分～午後12時30分

○場 所 保健センター

○内 容

【講 話】「各年代にあった食生活について」

・食育と食事バランスガイドの活用について

【調理実習】「親子で作れる簡単メニュー」

・手作りピザ・オクラのサラダ・もちもちポテト大福

○参加費 1人300円

※参加を希望される場合は、**8月11日（水）**までに保健センターにお申し込みください。

○申し込み・問い合わせ 保健センター（住民ふれあい課健康づくり班）☎28-3733

◀自主研修会の様子

## 地産地消！簡単！村の味＆技講習会

(第4回 食生活改善推進員会自主研修会)



○日 時 平成22年8月17日（火）13時～15時 ○場 所 保健センター

○内 容 「冷たいお菓子＆和紙小物」つくり ○参加費 1人200円（材料代）

○講 師 食生活改善推進員会

皆さんお気軽にご参加ください。参加を希望される場合は、事前に保健センターにご連絡ください。

○申し込み・問い合わせ 保健センター（住民ふれあい課健康づくり班）☎28-3733

## 子宮がん・乳がん施設検診

これらのがんは定期検診を受けて、早期発見ができるれば、ほぼ100%治すことができるがんの1つです。

ぜひこの機会に検診を受けてみてはいかがですか？

○実施期間 ・子宮がん検診…平成22年7月1日（木）～平成22年12月31日  
・乳がん検診…平成22年7月1日（木）～平成23年2月28日

○実施医療機関 村の指定する医療機関

○対象者 ・子宮がん検診…20歳以上の女性  
・乳がん検診…30歳以上の女性

○自己負担 ・子宮頸がん検診…1,000円 ・子宮体がん検診…800円  
・視触診のみ（30～39歳）…500円  
・視触診+マンモグラフィー（40歳以上）…1,000円

○受診方法 検診を希望される方は、受診票を発行いたしますので、  
**7月30日**までに保健センターまでご連絡ください。

※詳しい内容については以前配布したチラシをご覧になるか、保健センターにお問い合わせください。

○問い合わせ 保健センター（住民ふれあい課健康づくり班）☎28-3733

## 南東北裏磐梯診療所のお知らせ

当院で診察後CT・MRI検査が必要な患者様を  
水曜日限定で南東北病院へ送迎します。

## 検査当日の流れ

9時15分…裏磐梯診療所集合 → 9時30分…裏磐梯診療所出発 → 10時30分…南東北病院到着 → 受付  
→ 受付終了後検査開始 → 検査終了後13時までに総合案内へ集合 → 南東北病院出発  
→ 14時00分…裏磐梯診療所到着 → 14時20分…桧原診療所到着

## 裏磐梯診療所休診のお知らせ

平成22年7月16日（金）は、都合により休診とさせて頂きます。

問い合わせ：南東北裏磐梯診療所 ☎32-2009

平成22年8月1日から  
後期高齢者医療制度の  
保険証が新しくなります

現在お持ちの後期高齢者医療制度の保険証（オレンジ色）は、平成22年7月31日で有効期限が切れます。

新しい保険証（ピンク色）を、  
7月下旬に郵送します。

古い保険証は、役場窓口へ返還してください。  
○問い合わせ 住民ふれあい課 ☎23-3113

国民年金	介護保険料	上下水道使用料	国民健康保険税	固定資産税	今月の納税など
7月分	6月分	1期分	1期分	2期分	佐藤 吉春(吉運・父)剣ヶ峯
		佐藤 中川 サキ(明・父の母下)	五十嵐 清榮(物八・父)大久保		
		小川 正彦(一・母の父)樟	千葉フチイ(昌幸・父の母)谷地		吉

お悔やみ申し上げます

今月の行政相談

7月20日(火)

7月分 6月分 1期分 1期分 2期分

休日当番医

- 7月11日(日) 武田医院** ..... ☎27-4031

**7月18日(日) 手代木医院** ..... ☎22-0034

**7月19日(月) 鳴瀬病院** ..... ☎24-3333

**7月25日(日) 福田耳鼻咽喉科医院** ..... ☎24-4187

**8月 1日(日) 藤井医院** ..... ☎23-0023

**8月 8日(日) 三浦クリニック** ..... ☎22-0293

## 第二次救急当番医

第2次救急当番医は、休日・夜間に入院治療を必要とする重症患者の救急医療体制です。

- 7月 11日(日) 小野病院 ..... ☎22-0414

7月 18日(日) 有隣病院 ..... ☎24-5021

7月 19日(月) 佐原病院 ..... ☎22-5321

7月 25日(日) 県立喜多方病院 ..... ☎22-2181

8月 1日(日) 小野病院 ..... ☎22-0414

8月 8日(日) 有隣病院 ..... ☎24-5021

## 平成22年度国民健康保険税の税率が決まりました

## 平成22年度の国民健康保険税率（額）

## 1 医療給付費分 (医療保険分及び後期高齢者支援分を合わせた税率)

	平成22年度	1人あたりの負担額(平均)	平成21年度	1人あたりの負担額(平均)
所得割	7.80%		7.70%	
資産割	24.50%		24.50%	
均等割	25,700円	63,200円	24,900円	61,750円
平等割	20,500円		20,000円	

## 2 介護分 (40歳以上65歳未満の方)

	平成22年度	1人あたりの負担額(平均)	平成21年度	1人あたりの負担額(平均)
所得割	1.40%		1.40%	
資産割	4.70%		4.70%	
均等割	7,300円	16,900円	6,800円	17,250円
平等割	3,800円		3,800円	

国民健康保険は、自営業の方や会社を退職した方等が、税を出し合い、医療費、保険事業、出産育児一時金、葬祭費等にあてる「助け合い」の制度です。

国民健康保険税は、世帯ごとの加入者数や、所得などに応じて、被保険者の方から公平に負担をお願いしている国保会計の重要な財源です。

○問い合わせ 住民ふれあい課 ☎23-3113 税務課 ☎23-3114

北塩原短歌会

文芸のひろば

下川前 星 保美子  
母親は弁当つくり駅につく  
兄姉三人弟を助ける

白石子

やれることが続ける事が力なり  
他の教えに勇気湧き出づ  
下川前 星 ミサ子 高橋 みす江 大塩  
歩む度痛む両ひざいたわりつ  
今日も山畑老の日課よ  
大 塩 高橋 末義  
親子して地筍皮むく和む朝  
詰もはずむ恵比須顔にて  
松 原 佐々木 千ミ子  
豆 小豆 足腰痛くつらくとも  
ようやく植えて雨降り嬉し

久方に孫に誘われ運動会	佐藤 文世
児童少なく張り切る保護者	
五月終え掃苗草刈草取りと	
月日の早さに戸惑う吾は	
大塩 赤城 セイ子	
松原 金子 とく子	
トーケシヨウ知事と語ろう 一刻に	
北塩原の誇り熱弁	
大塩 塩 高橋 郁子	
一鉢の花咲きいで吾が目には	
誇りに思う夏待つ吾は	

山本 由江  
磴の数十段にして青葉風  
内海 恵子  
落の皮剥きて手洗のいとしさよ  
芍薬の珠の光りで一雨去る  
千葉 達子  
疲れ抜く早苗饗り酒で妻も酔ふ  
蓮沼喜久雄  
遠藤聖一郎  
憲放きぐいとひと筆青峰曳





第89回

## 草刈りの鉄人

大久保 鈴木 晃馬さん (82歳)

「こちらの田んぼは、昔百枚田と呼ばれていたんだと。一服のためゴザを広げて皆で休んでいたとき、田んぼの数を数えたら99枚しかないと騒いたら、敷いていたゴザの下に1枚あったんだとさ。」日焼けした顔をほころばせながら昔の話をしてくださいました。

今回は、草刈りの鉄人・鈴木晃馬さんを紹介します。

鈴木さんは、国道459号沿い神楽岩の近くで田を耕作しています。「いつ通ってもきれいに草刈りしてある田か」「秋になると国道に接続する作業道が銀杏の葉で一面黄色くなるきれいな場所か」とすぐ思い浮かぶはずです。

当時の県道の開設の際に田を整備したため、現在は百枚はありませんが、斜面のところどころにその面影が残され、先人の苦労が偲ばれる中山間地を代表する風景のひとつです。

鈴木さんは、現在82歳ですが、傾斜のきつい大きな土手でもリズムよく草刈機を操る姿はまさに鉄人です。

春・夏・秋と年3回実施するそうですが、負担が大きくないですかと尋ねたところ、「雑草は害虫など稻のためによくないし、草が固くならないうちに刈ったほうが楽だべ」と気負いもなく淡々と語っていました。

取材した6月20日の前後には、北山地区や第一中学校、桜峠など村内各所で一斉に草刈りが実施されました。人々の生活の営みから生まれ出されるそれらの風景はとても美しいものですね。



まるごと保養地協定を締結する東京都杉並区では、東京三大祭りの一つである「高円寺阿波踊り」が毎年開催されます。これまで、過去4回、村職員が参加し、北塩原村のPRを行ってきました。

今年からは、村民に参加していただき、阿波踊りで北塩原村をおおいにPRしてもらいたいと考えています。阿波踊りに参加したい方、ぜひ応募ください。

- 募集範囲 北塩原村民
- 募集期限 7月23日（金）
- 募集方法 観光政策課へご連絡ください
- 阿波踊り開催日 8月28日（土）
- 練習期間 7月、8月の週1回程度
- 申し込み・問い合わせ 観光政策課 ☎32-2511

### むらづくりパートナー活動より

#### 桧原地区・ニゴイ(カワゼ)

外島二郎さんから桧原地区のとておきの地域資源を教えていただきました。

産卵のために川を黒くなつて遡るニゴイ(カワゼ)の姿はとても生命力に溢れています。

コイとは思えぬシャープな体形や産卵期の特徴である追い星(口の周りの突起)、腹の模様の違いなど観察しても楽しい魚です。

ニゴイは名前のとおりコイ目コイ科ですが、清流とコイとのミスマッチが興味深く、桧原湖はやっぱり川なのだと改めて実感させられました。

